

令和 5 年 度

主要事業の概要

リーディングプロジェクト

輝かしい姫路の未来のために

私は市長就任以来、市民の皆さまの3つのL I F E「命」「暮らし」「一生」を守り、支えることを使命と定め、市政を推進してまいりました。ポストコロナの社会において、姫路の未来を皆さまと共に切り拓き、輝かしいネクストステージへと強力に推し進めるには、私がこの4年間に行ってきたまちづくりをさらに加速させるための原動力となる「活力」が必要であります。そこで、「活力」「命」「暮らし」「一生」の4つのメインテーマを掲げ、「令和5年度主要事業」を展開してまいります。

本誌では、「令和5年度主要事業」のうち、特に象徴的、先導的な施策である「リーディングプロジェクト」を分かりやすくご説明いたします。

姫路市長 清元秀泰

《 令和5年度主要事業 》

▶ 4つの「メインテーマ」

「活力」ある姫路を創造する市政…時代の変化に対応し、活力に満ちた姫路の未来を切り拓く

「命」をたいせつにする市政……市民の命を守るとともに、誰もが自分らしく活躍できる社会を構築

「暮らし」を豊かにする市政……経済・文化振興や都市基盤整備など、

ハード・ソフト両面から市域全体を活性化

「一生」に寄り添う市政……将来にわたり市民の皆さまが安心してくらせる姫路を創造

▶ 11の「重点政策」

「命」「暮らし」「一生」を守り支え、姫路の「活力」を創造するために重点的に取り組む政策

▶ リーディングプロジェクト

「重点政策」のうち、令和5年度主要事業を象徴する先導的な施策

目指す都市像

ともに生き ともに輝く にぎわい交流拠点都市 姫路

「活力」 ある姫路を創造する市政

未来を拓く「ひとづくり改革」
生活の質を高める「デジタル改革」
成長を促す「グリーン改革」
にぎわいを創出する「まちづくり改革」

「命」 をたいせつにする市政

命を守る安全安心体制の充実
命輝く健康福祉社会の実現

「暮らし」 を豊かにする市政

くらしを豊かにする観光・産業の振興
くらしを充実させるスポーツ・文化の振興
都市の価値を高める基盤整備の推進

「一生」 に寄り添う市政

躍動する地域づくりの推進
安心して一生くらす社会の実現



目 次

「活力」ある姫路を創造する市政

1. 未来を拓く「ひとづくり改革」

出会いから結婚、妊娠・出産期の支援……………	2 (2)
健やかな成長を支える子育て環境の整備……………	4 (3)
子育て世代の経済的負担の軽減……………	5 (3)
多様性を認め合う社会の実現……………	6 (5)

2. 生活の質を高める「デジタル改革」

姫路版スマートシティの推進……………	7 (8)
デジタル技術を活用した市民サービスの向上……………	8 (8)
マイナンバーカードの普及・利用促進……………	9 (10)

3. 成長を促す「グリーン改革」

ゼロカーボンキャッスルの推進……………	10 (12)
市民・企業のカーボンニュートラルの推進……………	11 (12)

4. にぎわいを創出する「まちづくり改革」

姫路城世界遺産登録30周年記念事業の推進……………	13 (16)
居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりの推進……………	15 (16)

「命」をたいせつにする市政

5. 命を守る安全安心体制の充実

新型コロナウイルス感染症への対策……………	17 (20)
新たな感染症への対策……………	18 (20)
姫路地域強靱化の推進……………	19 (21)

6. 命輝く健康福祉社会の実現

医療提供体制の確保……………	20 (26)
地域福祉の充実……………	21 (27)
子どもと家庭を守り支える環境の整備……………	23 (29)

「くらし」を豊かにする市政

7. くらしを豊かにする観光・産業の振興

観光資源の充実と魅力発信……………	25 (32)
スマート農林水産業の推進……………	27 (33)
活気に満ちた商工業の振興……………	28 (34)

8. くらしを充実させるスポーツ・文化の振興

手柄山中央公園の再整備……………	29 (38)
文化芸術の振興……………	30 (39)

9. 都市の価値を高める基盤整備の推進

交通・物流機能の強化……………	31 (42)
公共交通等の利便性向上……………	32 (43)

「一生」に寄り添う市政

10. 躍動する地域づくりの推進

地域活動の充実支援……………	34 (46)
ひめじ創生の推進……………	35 (47)

11. 安心して一生くらす社会の実現

循環型社会の形成……………	37 (50)
---------------	---------

用語解説……………	38
-----------	----

ページ番号

99 ……リーディングプロジェクト
(99) ……全体版

「活力」

ある姫路を創造する市政

未来を拓く

「ひとづくり改革」



生活の質を高める

「デジタル改革」



成長を促す

「グリーン改革」



にぎわいを創出する

「まちづくり改革」



出会いから結婚、妊娠・出産期の支援



未来を担う子どもや若年層を応援するため、ライフステージに応じた切れ目のない支援に取り組みます。

— 令和5年度予算額：67,933千円 —

◆ 若年層がライフプランを考えるきっかけづくり

若年層が結婚・出産等の将来のライフイベントに関する知識や情報を得るためのセミナーやワークショップを開催し、自身のライフプランについて考える機会を提供します。

➡ 対象者：中学・高校生、大学生、専門学校生 ほか



ライフプランセミナー

◆ 若年層の出会い支援 新規

結婚を希望する若年層が、安心して恋活・婚活イベントに参加できる機会を提供し、出会いを支援します。

◆ 妊産婦のタクシー利用支援 拡充

妊産婦が安全・安心に健診等を受診できるよう助成しているタクシー利用券を電子チケット化し、決済方法をデジタル化することで、利用者及びタクシー事業者の利便性を向上します。

➡ 利用期間：妊娠中から新生児が1歳になる前日まで

➡ 助成額：5,000円/人 ※マイナンバーカードを所有している場合は7,000円/人



若年層の出会い支援 (イメージ)

◆ 産婦健康診査費の助成 新規

出産後間もない産婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減を図るため、健康診査費を助成します。

➡ 助成額：5,000円上限を2回分/人

◆ 特定不妊治療に関する先進医療費の助成 新規

医療保険適用外となる先進医療にかかる特定不妊治療（体外受精・顕微授精）費の自己負担分を助成します。



妊産婦のタクシー利用支援 (イメージ)

出会いから結婚、妊娠・出産期の支援



未来を担う子どもや若年層を応援するため、ライフステージに応じた切れ目のない支援に取り組みます。

— 令和5年度予算額：441,140千円 —

◆ 出産・子育て応援事業

全ての妊婦や子育て世帯が安心して出産・子育てできるように、伴走型相談支援と経済的支援を一体的に行います。

- ▶ 伴走型相談支援の充実
妊娠届出時から一貫して妊婦や子育て家庭に身近で相談に応じ、必要な支援につなぐ体制を充実します。
- ▶ 出産・子育て応援給付金
経済的負担の軽減を図るため、妊娠または出産した妊産婦等に対し、各5万円を給付します。

◆ ハッピーバース事業

赤ちゃんの誕生のお祝いとして、5,000円相当を給付します。

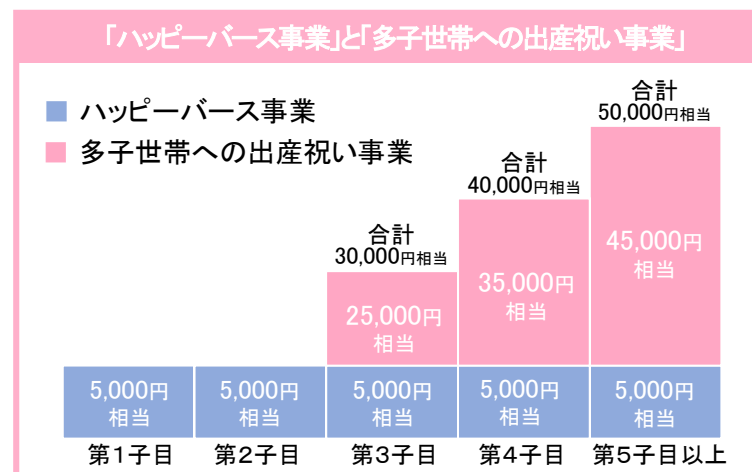
- ▶ 対象者：令和5年4月2日以降に生まれ、出生届出と同時に姫路市に住民登録し、マイナンバーカードを取得した赤ちゃん

◆ 多子世帯への出産祝い事業

多子世帯を支援するため、第3子以降（上の子2人以上が18歳以下の場合に限る）の赤ちゃんが出生した世帯に対し、子どもの人数に応じて給付します。

- ▶ 助成額：第3子目 …25,000円相当
第4子目 …35,000円相当
第5子目以降…45,000円相当

※ハッピーバース事業と多子世帯への出産祝い事業の両方対象となる場合は、両方に申請可



健やかな成長を支える子育て環境の整備



子どもたちがすくすくと育つように、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制の充実を図ります。

— 令和5年度予算額：21,925千円 —

◆ こどもの未来健康支援センター「みらいえ」の開設

令和5年4月に、思春期の若者や子育て世代の包括的な支援拠点として、JR東姫路駅近くに「こどもの未来健康支援センター（愛称：みらいえ）」を開設し、乳幼児健診や相談支援等を実施します。

▶ 相談支援機能の充実 新規

保健師や助産師等の専門職が、思春期相談や授乳に関する相談など、さまざまなニーズに応じた専門的な相談に対応する体制を整備します。

ライフステージに応じた性や生殖に関する正しい知識を普及するための機会を提供するとともに、プレコンセプションケアを含めた切れ目のない健康支援を実施します。

▶ 「のびのび広場みらいえ」の開設 新規

「みらいえ」内に、地域子育て支援拠点「のびのび広場みらいえ」を開設し、子育て世代の交流の場の提供のほか、保育士による子育て等の相談、支援等を実施します。



こどもの未来健康支援センター「みらいえ」(イメージ)

◆ 「駅前すくすくひろば」の利便性向上 拡充

子育て世代がより気軽に利用できるように、ピオレ姫路内に開設している地域子育て支援拠点「駅前すくすくひろば」の開設日を増やし、利便性と魅力の向上を図ります。

学生や事業者等と連携し、親子体操や人形劇など、子育て支援等に関するイベントを開催します。



駅前すくすくひろば

子育て世代の経済的負担の軽減



安心して子どもを産み育てることができるように、経済的支援のさらなる充実を図ります。

— 令和5年度予算額：1,948,231千円 —

◆ こども医療費助成制度の拡充

- ▶ こどもの入院費助成制度の拡充 **拡充**
子どもが入院した際にかかる医療費の助成対象を、18歳まで拡充します。
- ▶ 多子世帯におけるこども医療費の無償化 **拡充**
3人以上の子どもがいる世帯の経済的負担を軽減するため、子どもが医療機関を受診した際にかかる医療費を、18歳まで完全無償化します。

【拡充イメージ】

対象世帯	対象者		自己負担	
	対象年齢	所得制限	通院	入院
全世帯 ※	0歳～2歳	なし	なし	
	3歳～15歳	市町村民税所得割額 が23.5万円未満 (世帯合算)	なし	
	16歳～18歳	同上	現行どおり	なし
子どもが 3人以上 の世帯	0歳～18歳	なし	なし (完全無償化)	

※ 子どもが3人以上の世帯を除く



: 現行制度



: 拡充制度



多様性を認め合う社会の実現



互いを尊重し合いながら活躍できる社会を目指し、あらゆる人が学び、成長できる環境を提供します。

— 令和5年度予算額：66,919千円 —

◆ 夜間中学「あかつき中学校」における多様な学びの支援

義務教育を未修了のまま学齢期を経過した人や不登校など、さまざまな事情により十分な教育を受けられなかった人（外国籍の人を含む）の、義務教育を受ける機会を実質的に保障するため、夜間中学「姫路市立あかつき中学校」を東小学校内に開校し、生徒一人ひとりの状況に合わせた教育を進めます。

→ 開校：令和5年4月

◆ グローカル人材の育成によるSDGsの推進 拡充

市内の若者を対象に、異文化コミュニケーション能力やSNSを活用した発信力等を養成する、通年の国際人材育成プログラムを開設し、グローバル人材（＝国際人材）を育成します。



夜間中学体験会

◆ 外国人児童生徒等の受入環境の整備

▶ バイリンガル支援員の派遣 拡充

通訳や授業の補助等が必要な外国人児童生徒等が在籍する市立小中学校等に、バイリンガル支援員を派遣し、児童生徒及び保護者と教員とのコミュニケーションをサポートすることで、学習支援や生活支援等を実施します。

▶ 日本語指導支援員の配置 拡充

日本語の活用能力やコミュニケーション能力が十分でない外国人児童生徒等が在籍する市立小中学校等に、教員免許を持つ日本語指導支援員を配置し、日本語能力の向上を支援します。



ひめじ創生SDGsカフェ

姫路版スマートシティの推進



I C T等を活用し、「市民一人ひとりが暮らしに満足し、自分らしい生活を送ることができる姫路」の実現を目指します。

— 令和5年度予算額：233,476千円 —

◆ 姫路版スマートシティの推進

- ▶ データ連携基盤の構築 **新規**
スマートシティの基本原則であるデータの相互運用性・オープン性・透明性を確保するため、官民が保有する各種データを連携する仕組みを構築します。
データ連携によって創出される新たなサービスの導入により、地域の特性に応じた課題の解決を図ります。
- ▶ スマートシティ推進体制等の構築 **拡充**
民間等の専門人材を招聘し、姫路版スマートシティを強力に推進するための体制を構築します。
スマートシティに関して、広く市民からの意見を募集するためのプラットフォームを導入します。
- ▶ スマートシティ共創パートナーと連携した新たな取り組みの実施 **新規**
スマートシティ事業の推進にあたり、共創して事業実施を行う企業や各種団体を募集し、先進的技術を活用したさまざまな取り組みを展開します。
 - ➡ 主な取り組み…乳幼児健診等のデジタル化
ウェアラブル機器による妊娠期健康管理等の実施
自治体からの各種通知のデジタル化



姫路版スマートシティ実現イメージ〔第2期姫路市官民データ活用推進計画（策定中）より〕

デジタル技術を活用した市民サービスの向上



行政手続の簡素化と市民サービスのさらなる充実を図るため、市役所業務のデジタル化を推進します。

— 令和5年度予算額：131,987千円 —

◆ スマート窓口の導入

▶ 行政窓口のデジタル化推進

新規

市役所本庁舎の住民窓口センターにタブレット端末等を設置し、手書きすることなくタッチパネルを操作し申請できる「書かない窓口」「待たせない窓口」を導入することで、来庁者の手続の簡素化や待ち時間の短縮など市民の利便性を向上させるとともに、職員の業務効率向上を図ります。

▶ 遠隔行政窓口の拡充

拡充

従来は市役所本庁舎以外でできなかった手続や相談を、出先機関の専用ブースから本庁舎の担当職員と画面越しに行うことができる、遠隔行政窓口を増設します。

◆ 市民アプリ「ひめパス」の機能充実

多くの方が日常的に持ち歩いているスマートフォンを用いて、行政情報等を簡単に取得することができる姫路市民アプリ「ひめパス」が、市民にとってさらに便利になるように、機能の充実を図ります。

▶ 子育て役立ち情報の投稿・共有機能の追加

新規

市民が投稿した子育てに関するさまざまな情報を、アプリ内で簡単に共有できる機能を構築します。

▶ 市のデジタル窓口としての利活用推進

新規

マイナンバーカード認証を活用し、個人の属性に応じた行政情報をプッシュ配信するとともに、市公式アプリ「ひめじプラス」で提供する一部機能を「ひめパス」に統合することにより、市のデジタル窓口としての利活用を推進します。

▶ パーソナルデータを活用した新たなサービス展開の検討

新規

個人情報の適正な取り扱いの下、パーソナルデータをビッグデータやオープンデータとして活用し、新たなサービスの創出に向け検討を行います。



書かない窓口（イメージ）



遠隔行政窓口（イメージ）



「ひめパス」の利用イメージ

マイナンバーカードの普及・利用促進



市民生活の利便性向上を図るため、デジタル社会のパスポートであるマイナンバーカードの普及と利活用を促進します。

— 令和5年度予算額：253,901千円 —

◆ マイナンバーカードの普及促進

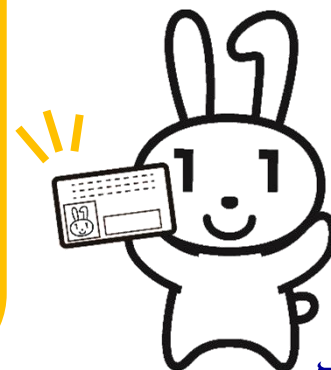
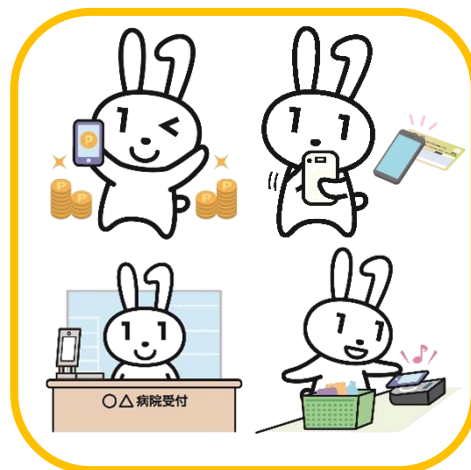
- ▶ マイナンバーカード広報の実施
マイナンバーカードの普及と活用を促進するため、カードの仕組みやカードを活用したサービスについて、各種ポスターや地域情報誌、SNS広告などを通じて市民へ分かりやすく発信します。
- ▶ マイナンバーカードの取得機会の拡充・利活用推進に向けた支援
商業施設等でイベントを開催し、マイナンバーカードの取得機会を拡充するとともに、カードを活用したサービスの利用に向けて支援します。



商業施設でのマイナンバーカードイベントの様子

◆ マイナンバーカードの多目的利用の促進

- ▶ 自治体ポイント（ひめじポイント）の活用 拡充
自治体ポイントを活用し、市民の健康増進や介護支援ボランティア活動等の市民参画を促進します。
- ▶ 市発行カードとマイナンバーカード一体化の推進
市が発行する各種市民カードについて、マイナンバーカードとの一体化を推進するとともに、マイナンバーカードによる本人確認端末を活用し、公共施設や文化観光施設への入場受付の実証を行います。
- ▶ 新たなマイナンバーカード多目的利用の検討
市民の利便性向上を図るため、選挙人名簿対照や避難所受付など、カードの新たな多目的利用方法について検討します。



マイナンバーカードの多目的利用（イメージ）

ゼロカーボンキャッスルの推進



2050年までの二酸化炭素の実質排出ゼロを目指し、姫路市域のグリーン化に取り組みます。

— 令和5年度予算額：293,971千円 —

◆ 脱炭素先行地域の推進

拡充

令和4年4月に環境省から第1回脱炭素先行地域として選定を受けた「姫路城ゼロカーボンキャッスル構想～世界遺産・国宝『姫路城』から始まる脱炭素ドミノ～」を推進します。

「ゼロカーボンキャッスル構想」を実現するため、令和5年度から令和8年度にかけて、本市所有の遊休地への太陽光発電設備の設置に取り組み、そこで作られた電力を姫路城やその周辺の公共施設13地点へ供給していきます。

➡ 電力供給施設：姫路城、好古園、美術館 等



ライトアップイメージ (株)石井幹子デザイン事務所

◆ 姫路城ライトアップのLED化の推進

姫路城ライトアップのLED照明の導入をさらに進め、脱炭素化を推進します。連立天守群のLED照明化（令和4年度整備）に引き続き、櫓や石垣などのLED照明化に取り組みます。

➡ スケジュール：令和5年度…櫓、石垣等 14基

◆ 城周辺観光ループバスのEV化

新規

脱炭素化を推進するため、姫路城周辺観光ループバス2台のEV化を助成します。



城周辺観光ループバス ※写真は現行車両

市民・企業のカーボンニュートラルの推進



地球温暖化対策に寄与する脱炭素型のまちづくりを推進します。

— 令和5年度予算額：590,987千円 —

◆ 次世代自動車の普及促進

拡充

モビリティの脱炭素化を推進するため、個人や事業者向けにEV、FCVなど、次世代自動車の導入助成制度を拡充します。

➡ 助成額：EV…20万円/台、FCV…50万円/台 等

◆ EV用急速充電設備の整備

新規

EVの普及を促進するため、市民が利用できる急速充電設備の市役所本庁舎への整備に取り組みます。

➡ スケジュール：令和5年度…実施設計、令和6年度…工事

◆ ZEB・ZEHの普及促進

▶ 事業者向け太陽光発電設備の設置助成

工場や事業所等に太陽光発電設備を設置する事業者向けに、設置費用の一部を助成します。

➡ 助成額：太陽光発電設備…上限500万円（1kwあたり2万円）

▶ 家庭用蓄電システムの普及促進

個人向けに、住宅用太陽光発電システムに接続する蓄電システムの設置費用の一部を助成します。

➡ 助成額：上限10万円（1kwhあたり上限2万円）

◆ 事業者向け省エネ設備の導入促進

新規

事業者のエネルギーコストの負担軽減を図るとともに、カーボンニュートラルへの取り組みを促進するため、省エネルギー性能の高い機器及び設備への更新費用の一部を助成します。

➡ 助成額：対象経費×1/2（上限200万円 ※従業員数×10万円）



FCV（燃料電池自動車）



EV用急速充電設備（イメージ）

市民・企業のカーボンニュートラルの推進



地球温暖化対策に寄与する脱炭素型のまちづくりを推進します。

— 令和5年度予算額：8,960千円 —

◆ SDGs債（グリーンボンド）の発行 新規

脱炭素化に向けた事業を推進するための資金調達を行うとともに、本市の取り組みを広くPRするため、県と共同でSDGs債を発行します。（発行予定額2億円）

◆ 市民・企業へのカーボンニュートラルの啓発

▶ 事業者の温室効果ガス排出量可視化ツールの導入促進 新規

事業活動に関係して生じる全ての温室効果ガス排出量である、「サプライチェーン排出量（Scope 1～3）」を算定し可視化するツールを導入する事業者に対して、導入費用の一部を助成し、温室効果ガス排出量削減を促進します。

▶ 環境啓発イベントの開催

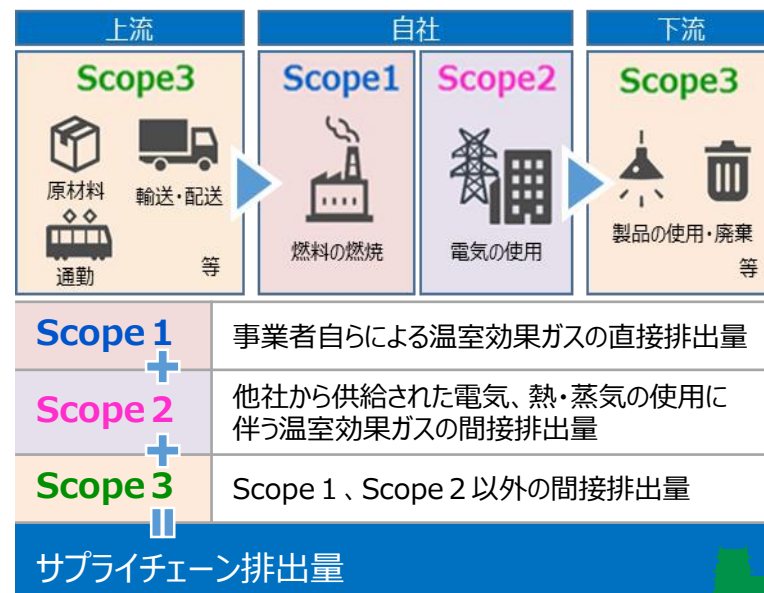
網干環境楽習センターで市民向けの環境啓発講座等を実施します。

▶ 事業者のESGへの取り組みの促進

事業者向けにESG等をテーマとしたセミナーを開催します。



SDGs債を発行し、脱炭素化を推進する事業に活用します



姫路城世界遺産登録30周年記念事業の推進



令和5年12月に姫路城が世界遺産登録30周年を迎えることを記念し、さまざまな催しを展開します。

— 令和5年度予算額：313,020千円 —

◆ 姫路城世界遺産登録30周年記念事業の推進

新規

姫路城世界遺産登録30周年を記念し、市を挙げて多彩な催しを展開します。

記念事業を通じて祝賀ムードの醸成を図るとともに、姫路城の歴史的・本質的価値を国内外にアピールすることで、観光誘客を推進します。



姫路城
世界遺産登録
30周年記念

スケジュール	主な事業 ※ 再掲事業含む
第1期 (R4.12～R5.3)	姫路城Castle History 鏡花水月 さくらサーカス 等
第2期 (R5.4～R5.6)	平成中村座姫路城公演 チームラボ（書写山圓教寺） 等
第3期 (R5.7～R5.9)	兵庫デスティネーションキャンペーン(姫路城特別公開) 英国ロイヤル・バレエ団 2023年日本公演 姫路公演 (ロイヤル・バレエ・ガラ) チームラボ（美術館） 特別版 お城EXPO in 姫路 等
第4期 (R5.10～R5.12)	姫路お城まつり・姫路大名行列 ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団姫路公演 光で繋ぐCastle History 30 th 世界遺産シンポジウム 姫路城世界遺産登録30周年記念式典 等
第5期 (R6.1～R6.3)	姫路城特別公開 世界遺産姫路城マラソン2024 等



姫路城Castle History 鏡花水月



姫路城特別公開（乾小天守から望む大天守）

姫路城世界遺産登録30周年記念事業の推進

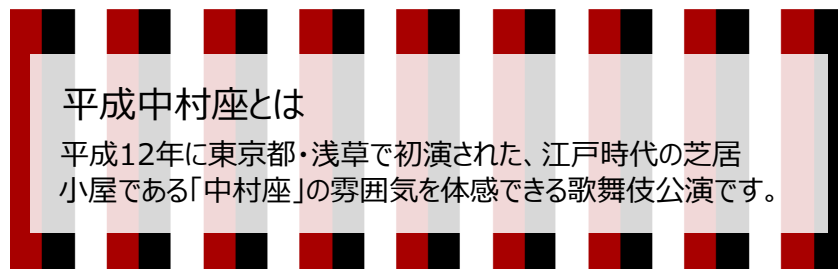


令和5年12月に姫路城が世界遺産登録30周年を迎えることを記念し、さまざまな催しを展開します。

◆ 「平成中村座姫路城公演」の開催 新規

姫路城三の丸広場に設置する期間限定の特設劇場において「平成中村座姫路城公演」を開催します。

- ➡ スケジュール：令和5年5月3日～27日（予定）
公演回数：1日2公演（昼・夜各1回）



◆ 「特別版 お城EXPO in 姫路」の開催 新規

日本最大級のお城の祭典である「お城EXPO」の特別版を開催し、姫路城及びアクリエひめじの魅力や知名度を向上させるとともに、本市への誘客促進や地域活性化、文化財への理解促進を図ります。

- ➡ 開催期間：令和5年9月16日～18日（予定）
会場：アクリエひめじ 全館
内容：講演会、テーマ展示、出展ブース、体験コーナー、記念演奏会など（予定）



居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりの推進



中心市街地において魅力的な空間を創り、市民や来街者の回遊性等を向上させるための環境を整備します。

— 令和5年度予算額：260,442千円 —

◆ 公共空間の利活用

ウォカブル推進計画に基づき、地元自治会や事業者による公共空間の利活用を促進するとともに、駅西エリアでのリノベーションまちづくりを推進します。

- ➡ スケジュール：令和5年度…ウォカブル促進プログラムの運用開始
駅西エリアでのリノベーションまちづくりの推進

◆ 大手前通りのにぎわい創出

- ▶ ほこみち制度を活用したエリア価値向上に向けた取り組みの推進
歩行者利便増進道路（通称：ほこみち）の占用主体である大手前通り街づくり協議会と連携し、持続的な運営の仕組みづくりや居心地が良いと感じてもらえる空間を目指したルールづくりを進め、沿道事業者による大手前通りへの再投資を促進させていくことで、エリア価値の向上を図ります。
- ▶ 大手前通りのイルミネーション 新規
姫路城のライトアップイベントの時期等に合わせ、大手前通りにおいてイルミネーションを点灯し、夜間の「ほこみち」の充実を図ることで、本市のシンボルロードを華やかに彩ります。

◆ 姫路駅南側まちなみの美装化

JR姫路駅新幹線高架橋南側側道の無電柱化及び歩道美装化を実施します。



姫路駅北駅前広場におけるウォカブル社会実験



大手前通りにおけるほこみちの活用

「命」

をたいせつにする市政

命を守る安全安心体制の充実

命輝く健康福祉社会の実現

新型コロナウイルス感染症への対策

市民の皆さまの命を守るため、感染症対策を間断なく実施します。

◆ 新型コロナウイルス感染症への対策

- ▶ 新型コロナウイルスワクチン接種の実施
国の方針に基づき、必要な接種については、引き続き自己負担なく実施します。
- ▶ 陽性患者の入院費等の公費負担
入院した新型コロナウイルス感染症陽性患者の入院医療費を公費負担します。
- ▶ 陽性患者一時入院受け入れ医療機関への支援
夜間に体調が悪化した在宅療養者を一時的に受け入れた医療機関に対して支援を実施し、医療提供体制を確保します。

◆ 感染症発生時におけるサービス継続支援

高齢者施設・障害者施設等への緊急支援用として衛生用品の備蓄を行うほか、感染症発生時、濃厚接触者等にサービス提供を行った施設・事業所に対して必要経費を助成します。

— 令和4年度2月補正予算額：103,900千円 —
— 令和5年度予算額：1,272,495千円 —



新たな感染症への対策

新たな感染症の発生に備え、健康危機への対応を充実します。

— 令和5年度予算額：25,056千円 —

◆ コロナ禍の教訓を踏まえた新たな感染症対策の構築 拡充

感染症発生時に迅速かつ効率的に対応できるように、感染症業務全般についてデジタル化を推進するほか、市としての継続的な感染症対応体制の見直しや業務マニュアルの整備等に取り組みます。

また、平時から計画的に感染防護具や検査試薬等を備蓄します。

◆ 感染症等検査体制の充実

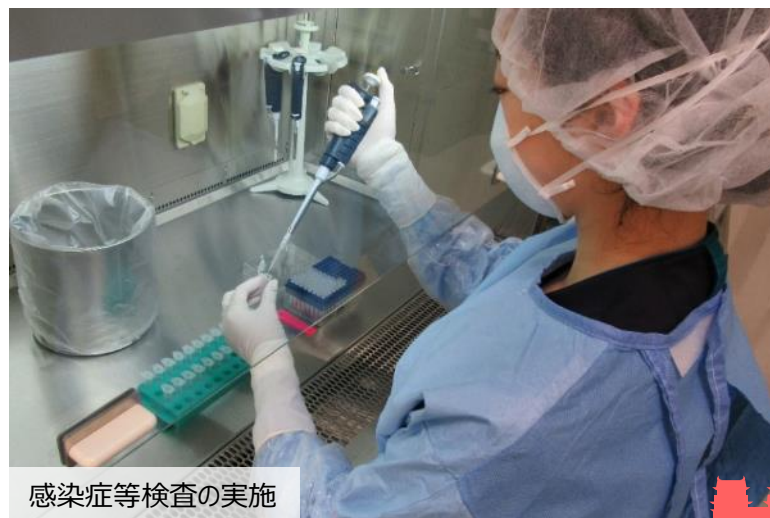
感染症等の早急な原因究明及びまん延防止対策のため、迅速かつ精度の高い検査を実施するとともに、計画的な検査機器等の点検整備、更新及び検査員の技術習得、継承に努めます。

◆ AMR（薬剤耐性）対策の推進

- ▶ 市民への啓発の推進
子育て世代等のAMRに関する認知度向上を図るため、さまざまな広報媒体を活用した啓発活動を推進します。
- ▶ 医療従事者の養成
医療従事者のAMR対策に関する専門知識の向上を図るため、研修会を開催します。



資材等の備蓄



感染症等検査の実施

姫路地域強靱化の推進

災害に強いまちづくりを進めるため、公共インフラを計画的に整備します。

— 令和5年度予算額：4,108,228千円 —

◆ 橋りょう長寿命化の推進

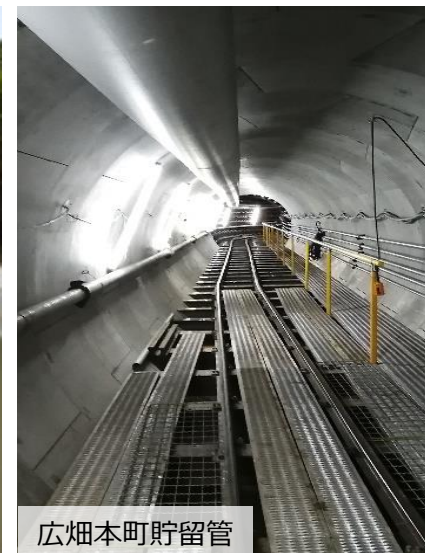
橋りょうの安全性確保と長寿命化を推進するため、長寿命化修繕計画に基づく計画的な点検や修繕等を実施します。

◆ 浸水対策の推進

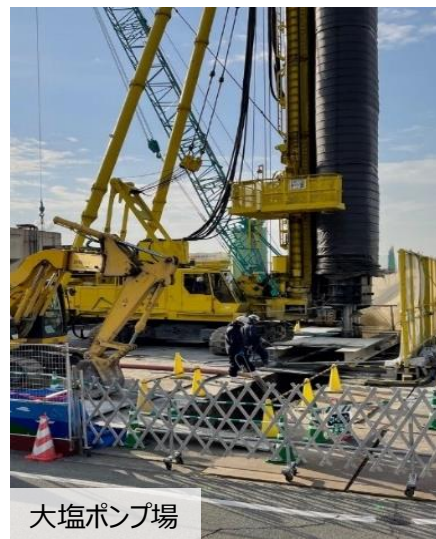
- ▶ 都市基盤河川の整備
市街地の治水安全度の向上を目指し、都市基盤河川の整備を推進します。
➡ 二級河川大井川（護岸等の整備）
- ▶ 準用河川・普通河川・排水路の整備
河川、排水ポンプ場及び排水路の整備や河川護岸等の改修を推進します。
また、老朽化したポンプ施設のオーバーホール等の長寿命化対策を実施します。
➡ 東坂川、宮内川排水ポンプ場、妻鹿川排水ポンプ場 等
- ▶ 雨水幹線等の整備
雨水管理総合計画に基づき、浸水リスクの高い地区から、雨水幹線、雨水貯留施設及び雨水ポンプ場の計画的・効率的な整備を推進します。
➡ 広畑本町貯留管、大塩ポンプ場、八家川第5ポンプ場 等
- ▶ 河川整備計画の策定
河川の状況や安全度を的確に把握し、河川・流域の状況に応じた効果的な河川整備を推進するため、「河川整備計画」を策定します。



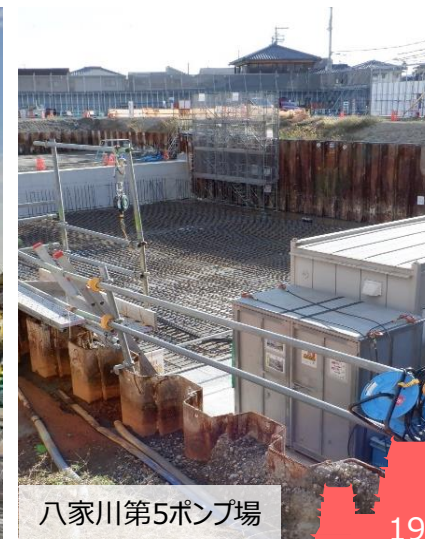
二級河川大井川



広畑本町貯留管



大塩ポンプ場



八家川第5ポンプ場

医療提供体制の確保

市民の皆さまが日々の生活を安心してすごせるように、長期的かつ安定した医療提供体制を確保します。

— 令和5年度予算額：711,279千円 —

◆ 獨協学園姫路医療系高等教育・研究機構への支援と活用

同機構が安定的・継続的に本市の地域医療に資するための研究を行えるように、「はり姫」の教育研修棟にて活動する、同機構の運営を支援します。

同機構の高度シミュレーション機器を活用し、地域の医師の教育・研修機会を充実します。

◆ 医療従事者の確保

市内医療機関において医師として勤務しようとする臨床研修医に奨励金を貸与し、医師の養成及び確保を図ります。

➡ 貸与額：前期研修医…10万円/月、後期研修医…15万円/月
姫路市医師会看護専門学校に対し運営費を助成します。

◆ 救急ワークステーションの拡充

拡充

救急隊員が行う救命処置の質の維持・向上のため、「はり姫」にて新規救命士の就業前実習・指導救命士の病院実習を新たに実施します。

◆ 南西部地域の医療提供体制の確保

▶ 後医療機関への支援

南西部地域の長期的かつ安定的な医療提供体制を確保できるように、医療・介護ゾーン（製鉄記念広畑病院跡地）で新病院を開院し運営する社会医療法人に対し、運営経費等の一部を助成します。

▶ 医療・介護ゾーンの整備

周辺道路や駅前ロータリーなど、医療・介護ゾーン周辺において利便性向上を図るため、インフラ等の整備を実施します。



地域福祉の充実

人々が互いに支え合いながら、住み慣れた地域で健やかにくらするように、地域福祉の充実に取り組みます。

— 令和5年度予算額：13,912千円 —

◆ 認知症カフェの開設 新規

認知症の人やその家族の孤独・孤立化の防止を図るため、既設の認知症サロンに加え、医療系専門職を交えて気軽に交流・相談できる場として、市内の認知症疾患医療センター内に認知症カフェ（オレンジカフェ）を新設します。

➡ スケジュール：令和5年度…1カ所



認知症カフェ（イメージ）

◆ 望まない孤独・孤立の解消に向けた居場所づくり

▶ ひきこもり実態調査の実施 新規

ひきこもり状態にある人の推計数や支援のニーズを把握するため、市民アンケートを行います。

▶ ひきこもり支援の推進

ひきこもり状態にある人の居場所づくりや関係機関による支援ネットワークを構築し、当事者が社会参加に至るまでの、切れ目のない支援を実施します。

➡ 居場所「ぶち た ぶち」

➡ 支援ネットワーク「不登校・ひきこもり支援ネットワークひめじ」



居場所「ぶち た ぶち」

◆ フードバンク活動への支援 拡充

市の広報媒体を利用し、フードドライブ活動の情報を発信します。

市内でフードバンク活動を実施している団体等と連携し、市役所本庁舎1階市民ロビーにて、フードドライブ活動を行います。

市とフードバンク活動に関する協定を締結している団体と連携し、生活困窮世帯等への食材配送を行います。



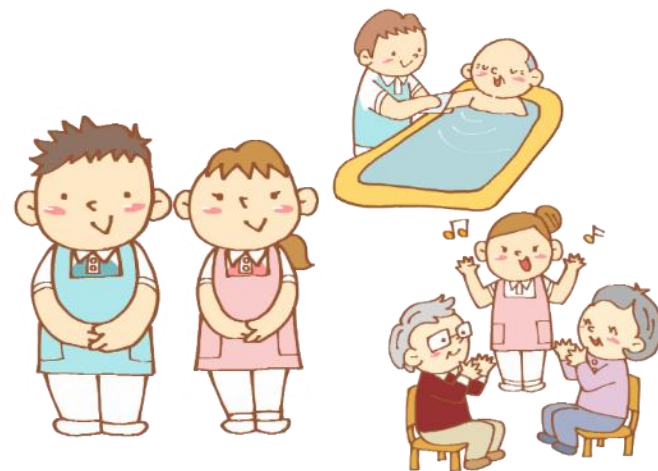
地域福祉の充実

人々が互いに支え合いながら、住み慣れた地域で健やかにくらするように、地域福祉の充実に取り組みます。

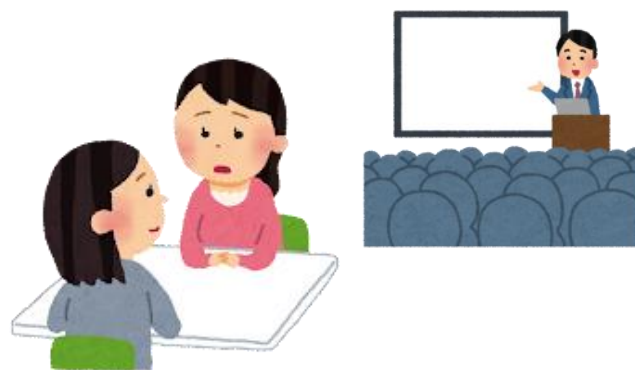
— 令和5年度予算額：12,728千円 —

◆ 介護人材の確保・定着促進

- ▶ 介護職員の相談体制の整備、人材の育成・支援
介護職のための総合相談窓口として介護人材ナビゲーターを配置するとともに、研修・交流会等を開催します。
- ▶ 介護職員養成研修受講への支援
介護職員初任者研修及び実務者研修の受講費用を助成します。
➡ 助成額：初任者研修…上限35,000円、実務者研修…上限5万円
- ▶ 介護インターンシップサポートの充実
高校生や介護未経験者等を対象に、介護サービス事業所における就労体験の機会を提供します。
- ▶ 介護職員等のU J Iターンへの支援 拡充
市内転入と同時に市内の介護事業所へ正規職かつ常勤職員として就職した介護職員等に対し、住居にかかる費用を助成します。
➡ 対象経費：転入にかかる初期費用、引越し費用
➡ 助成額：上限20万円（一部地域：上限30万円）
- ▶ 訪問看護師・介護職員の安全確保・離職防止対策の推進
訪問看護師等が安全確保のため2人以上で訪問する場合の事業所負担分や、やむを得ず1人で訪問する際に必要な緊急通報機器購入費の一部を助成します。
- ▶ 介護事業所向け弁護士相談サポート
介護事業所向けに弁護士による相談窓口を設置するほか、弁護士による研修・講演会を実施します。



介護インターンシップサポート（イメージ）



介護事業所向け弁護士相談サポート（イメージ）

子どもと家庭を守り支える環境の整備

子どもとその家庭が安全・安心にらせるように、サポート体制を整備します。

— 令和5年度予算額：1,412,687千円 —

◆ 障害児放課後等デイサービス、タイムケア事業の充実

- ▶ 放課後等デイサービスの利用日数拡充 拡充
放課後等デイサービスの利用可能な日数を令和5年10月から拡充します。
→ 利用上限日数：月14日(週3日)→月19日(週4日)
- ▶ 放課後等デイサービス等の新規開設助成
放課後等デイサービス及びタイムケア事業所の新規開設費用を助成します。

◆ ヤングケアラーへの支援推進

- ▶ 多機関連携によるヤングケアラーへの支援推進 拡充
ヤングケアラーを早期把握するとともに、個々のニーズや家庭の状況等に応じた包括的な支援を推進するため、関係機関と情報共有し連携を強化します。
- ▶ ヤングケアラーの認知度向上に向けた取り組み 拡充
市民や関係機関を対象とした研修会を開催します。
- ▶ 訪問支援事業の実施 新規
ヤングケアラーの身体的・精神的負担の軽減を図るため、ヤングケアラーのいる家庭にヘルパーを派遣し、家事・育児支援を実施します。

◆ 子どもを守る相談支援体制の充実

子どもやその家庭が抱える複合化、多様化した課題に対し、丁寧に寄り添った支援を行うため、関係機関と緊密に連携し、支援体制の強化を図ります。

◆ スクールソーシャルワーカーによる支援の充実 拡充

市立中学校等にスクールソーシャルワーカーを配置し、家庭を含めた児童生徒を取り巻く環境に焦点を当てた支援や学校への助言を行うことで、教育相談体制の充実を図ります。



「くらし」

を豊かにする市政

くらしを豊かにする観光・産業の振興

くらしを充実させるスポーツ・文化の振興

都市の価値を高める基盤整備の推進

観光資源の充実と魅力発信

本市が誇る観光資源の魅力を発信し、さらなる誘客を推進するとともに、観光産業の活性化を図ります。

— 令和5年度予算額：280,473千円 —

◆ DMOを核とした観光地域づくり

観光庁の登録DMOである（公社）姫路観光コンベンションビューローを中心とした、戦略的・効果的な観光地域づくりを推進します。

▶ 観光産業育成支援事業 新規

「地域の稼ぐ力」を引き出し、観光客の満足度・リピーター率を高め、持続可能な観光地域づくりを行うため、観光産業を育成します。

▶ 対象者：市内の観光関連事業者 等

▶ 戦略的な誘客の推進

旅行会社と連携した現地旅行ツアーである「もっと姫路たび」等の着地型旅行商品を企画・造成します。

観光データを分析し、広域連携による情報発信や広報媒体の多言語対応など、インバウンドを含む観光誘客に向けた戦略的なプロモーションを展開します。

姫路の食材・グルメの魅力を発信し、食による誘客を推進します。

▶ MICE誘致の推進

MICE誘致に向け、学会・団体の主催者へのプロモーション活動や各種コンベンション開催補助金による開催支援、コンベンション受入体制の整備等を行います。

▶ DMO事業の推進 拡充

令和4年10月に設立されたDMO企画委員会と連携し、観光客数に加え、観光消費額の増加等に向けた取り組みを推進します。



国際学会のエキスカーション
※SETC 2022



MICE誘致の推進
※WTM 2022（ワールド・トラベル・マーケット）

観光資源の充実と魅力発信

本市が誇る観光資源の魅力を発信し、さらなる誘客を推進するとともに、観光産業の活性化を図ります。

— 令和5年度予算額：42,038千円 —

◆ 体験滞在型の特色ある観光コンテンツの充実

- ▶ 兵庫デスティネーションキャンペーン **新規**
J Rグループと県等が実施する、兵庫デスティネーションキャンペーン（令和5年7月～9月）にあわせ、本市ならではの観光コンテンツによる誘客を実施します。
➡ 姫路城特別公開（非公開エリア6カ所の同時公開）
- ▶ 姫路城生きた歴史体感プログラム（リビングヒストリー）の実施
文化庁の補助事業で制作した衣装等を活用した、大名行列や千姫・忠刻復元着物着用体験、侍体験を実施します。
➡ 姫路大名行列：姫路お城まつり（11月）、世界遺産姫路城マラソン（2月）
- ▶ デジタルを活用した観光コンテンツの企画・実施 **拡充**
V R姫路城を活用した謎解きイベントやデジタルスタンプラリーなど、デジタル技術を活用した観光コンテンツを企画・実施します。
➡ V R姫路城謎解きイベント（下半期）、デジタルスタンプラリー（通年）
- ▶ 姫路城内堀特別運航 **拡充**
兵庫デスティネーションキャンペーン期間中に、姫路城内堀を和船で周遊する体験学習を実施します。
令和5年度は、コタツで楽しむ和船の冬季運航を新たに実施します。



姫路大名行列



和船の特別運航

スマート農林水産業の推進

農林水産業における生産性向上と持続性の両立に向け、スマート化の推進に取り組みます。

— 令和5年度予算額：41,729千円 —

◆ スマート農林水産業機械等の導入促進

- ▶ スマート農林水産業機械等の導入費用の助成 **新規**
農林水産業の生産性向上や従事者の負担軽減、作業の効率化を図るため、ドローンや高性能機器等スマート機械等の導入費用の一部を助成します。
- ▶ スマート農業の実証
農業振興センターの栽培施設内において、気温や湿度、日射量等の栽培環境の可視化に取り組みます。また、最新のスマート農業機械・機器による実演会を開催し、スマート農業に関する情報の普及に努めることで、農作業の効率化を促進します。



◆ スマート市民農園事業の推進

農業分野のデジタル人材育成を図るため、小中学生や障害のある人を対象に、農業ロボットを利用した農業体験を実施します。
全国の高校生や大学生等が農業のスマート化に関するアイデアやビジネスモデルを競う「アグリテック甲子園」を開催します。



活気に満ちた商工業の振興

商工業の活性化を図るため、地域産業の高付加価値化を進めるとともに、起業・創業を促進します。

— 令和5年度予算額：93,997千円 —

◆ 地場産品の販路拡大支援

- ▶ 学生と連携した新商品開発や国内外でのプロモーション
令和7年開催の大阪・関西万博を見据え、大学生等と連携した新商品開発、国内外でのプロモーション等による産地の魅力向上や地場産品の国内外への販路拡大を支援します。
- ▶ 地場産品のブランド化推進
播磨地域の地場産品について地場産品の高付加価値化と産業振興を図るため、PRや販路拡大支援等を実施します。

◆ 起業・創業支援の充実

- ▶ 起業プラザひょうご姫路の運営
スモールオフィス、コワーキングスペース等を備えた「起業プラザひょうご姫路」において、起業・創業のサポートを行います。
- ▶ 姫路創業ステーションの活用促進
姫路商工会議所と連携して創業者向けのワンストップ相談窓口を運営するほか、創業セミナーを開催し、創業時のさまざまな課題解決に向けた支援を行います。

◆ 新産業の創出促進

- ▶ 新産業の創出に向けた研究・開発支援 新規
成長が期待される次世代産業を中心とした新産業の創出を図るため、事業者を対象に、半導体、水素、電池関連製品等の実用化に向けた研究・開発・実証を支援します。
- ▶ ITスタートアップ事業所の開設支援 新規
高度なITを活用し、今後成長が見込める事業に取り組む事業者が、市内に新たに事業所を開設する際に、経費の一部を助成します。



国外プロモーション（展示会）の様子



起業プラザひょうご姫路 コワーキングスペース

手柄山中央公園の再整備

感動と笑顔あふれる憩いの交流空間の創出に向け、手柄山中央公園の再整備を進めます。

— 令和4年度2月補正予算額：959,755千円 —

— 令和5年度予算額：1,198,500千円 —

◆ 手柄山中央公園の再整備

▶ 新体育館、屋内競技用プール等の整備

本市の新たなスポーツの拠点として、国際大会、プロスポーツ等の大規模大会の開催も可能な新体育館や屋内競技用プール等を整備します。

→ スケジュール：令和5年度…造成工事

令和6～8年度…建築工事、開業準備

令和8年10月…供用開始

▶ 東エントランス広場の整備

山陽電鉄手柄駅からの東の玄関口として、遊具や広場等を整備することにより、にぎわいの空間を創出します。

→ 整備内容：児童用遊具、インクルーシブ遊具、トイレ、休憩所、駐車場等

▶ ロックガーデン周辺等の整備

老朽化の進んでいるロックガーデン周辺の改修を実施します。

▶ 都市計画道路手柄山線の歩道改良

公園全体の利便性向上を図るため、山陽電鉄手柄駅から陸上競技場や中央体育館等へつながる手柄山線の歩道を、安全で快適な歩行空間として整備します。



外観鳥瞰図イメージ（手柄山JR新駅から望む）



新体育館：メインアリーナ



屋内競技用プール



新体育館：柔道場・剣道場



屋外附属プール

文化芸術の振興

音楽をはじめとする文化芸術や地域資源を活用し、にぎわいの創出や交流の促進を図ります。

— 令和5年度予算額：264,992千円 —

◆「音楽のまち・ひめじ」の推進

市民の皆さまが音楽に親しめる機会を充実し、本市の音楽文化のさらなる発展を図ります。

「音楽のまち・ひめじ」の主な取り組み

ル・ポン国際音楽祭の開催（赤穂市と共同開催）

播磨国吹奏楽団演奏会の開催

姫路市ジュニアオーケストラの運営支援

交響詩ひめじの普及

姫路城100本のトランペットの開催



ル・ポン国際音楽祭2022



©チームラボ（令和元年開催）
「世界は暗闇からはじまるが、それでもやさしくつくしい」

◆「オールひめじ・アーツ&ライフ・プロジェクト」の開催

新たな視点から姫路の文化資源の価値を創出するため、著名なアーティストを招聘し、姫路城や書写山圓教寺等を舞台としたアートプロジェクトを展開します。

アーティスト	事業内容
チームラボ （デジタルアート集団）	美術館と書写山圓教寺三之堂・食堂（国指定重要文化財）において展開する企画展
中谷芙二子 （霧の彫刻家）	姫路城・美術館・庭園を一望に収める景観を「霧の彫刻」によって新名所とする庭園アートプロジェクト



©中谷芙二子《白鷺が飛ぶ》霧の彫刻

交通・物流機能の強化

交通・物流機能の強化と港湾エリアにおける脱炭素化の推進に取り組みます。

◆ 播磨臨海地域道路の整備促進

ものづくり産業の国際競争力や防災・減災機能の強化、広域交流の促進など、多くの効果が期待される播磨臨海地域道路の早期整備に向けて取り組みます。

国の本線ルート計画案を踏まえ、都市計画決定を見据えたアクセス道路等の検討を行います。

◆ 姫路港広畑地区及び網干地区の整備促進

企業立地の促進や物流機能の強化、交通渋滞の緩和などにつながる国の「姫路港広畑地区 国際物流ターミナル整備事業（事業期間：令和3年度～令和12年度）」の早期完了に向けて、国・県と共に取り組みます。

「臨港道路網干沖線・広畑線」及び「国道250号」への接続道となる、市道広畑60号線の整備について検討します。

整備箇所・整備主体		
国	県	市
臨港道路網干沖線	臨港道路広畑線（改良）	市道広畑60号線
航路・泊地（水深14m）	ふ頭用地	
泊地（水深14m）		
岸壁（水深14m）		

◆ CNP（カーボンニュートラルポート）の推進

播磨臨海地域におけるCNPの実現に向けて、県が設置する播磨臨海地域CNP推進協議会への参画や、水素関連など成長が期待される次世代産業への事業者の参画促進などにより、港湾エリアの脱炭素化を推進します。

— 令和5年度予算額：45,628千円 —



公共交通等の利便性向上

鉄道駅やシェアサイクル等を整備し、コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりを進めます。

— 令和5年度予算額：1,256,300千円 —

◆ 手柄山 J R 新駅周辺の整備

令和8年春の開業に向け、手柄山中央公園北側に J R 新駅の整備を進めます。

→ スケジュール：令和5年度…駅舎・自由通路の整備 等



◆ J R 英賀保駅周辺の整備

J R 英賀保駅北側から駅へのアクセス向上を図るため、北改札口と自由通路の整備を進めます。

→ スケジュール：令和5年度…北改札口・自由通路の整備



◆ 市内鉄道駅の利便性向上

誰もが安全かつ快適に鉄道を利用し、自立した日常生活を送ることができるように、市内鉄道駅の整備に取り組みます。

公共交通機関の利用を促進することで、まちの脱炭素化を目指します。

→ スケジュール（令和5年度）

山陽電鉄夢前川駅…ロータリーの整備、バリアフリー化補助

J R 京口駅・仁豊野駅

山陽電鉄的形駅・西飾磨駅 } …バリアフリー化に向けた各種調査・設計等

◆ シェアサイクル「姫ちゃり」の利便性向上

拡充

シェアサイクルのさらなる利用促進に向け、スマートロック式の貸出システムを導入し、利便性向上に向けた取り組みを進めます。



「一生」

に 寄 り 添 う 市 政

躍動する地域づくりの推進

安心して一生くらす社会の実現

地域活動の充実支援

多世代の地域参画を促進し、新たな交流の創出を図ります。

— 令和5年度予算額：149,745千円 —

◆ 公民館のデジタル化による新たな交流の創出

- ▶ 公民館へのWi-Fi環境の整備 **新規**
公民館を中心とした地域コミュニティの活性化を目指すため、市立公民館68館にWi-Fi環境を整備し、利便性の向上を図ります。
- ▶ 地域におけるデジタル化推進 **拡充**
公民館等において「スマホ講座」を実施するとともに、オンライン行政サービスについての案内を行います。また、一部の公民館において公民館職員によるスマートフォンの基本操作に関する相談・対応を試行的に実施します。



◆ 校区集会所の設置に向けた支援

拡充

地域活性化に資する地域の自主的な取り組みの活動拠点として、地区連合自治会が設置する校区集会所の新設・増改修にかかる費用を助成します。

- ➡ 助成額：（新設） 上限1,700万円 → 3,000万円
（増改修） 上限200万円 → 400万円

助成率：1/3 → 1/2



集会所（イメージ）

ひめじ創生の推進

人口減少社会において、本市の特性を活かしながら、地域全体の活性化を図ります。

— 令和5年度予算額：27,609千円 —

◆ 総合的な移住・定住支援策の推進

▶ 若者世帯郊外移住促進事業

新規

本市郊外部への若者世帯の移住・定住を促進するため、対象校区に移住し、住民登録を行った39歳以下又は15歳以下の子どもを含む世帯に対して、住居にかかる費用等を助成します。

- ➡ 対象校区：国勢調査（平成22年～令和2年の10年間）において人口減少率が10%以上かつ高齢化率が30%以上の校区(19校区)
- ➡ 対象者：(1) 市外からの移住者：播磨圏域連携中枢都市圏の7市8町を除く地域から対象校区への移住者
(2) 市内からの転居者：人口増加率が5%以上の校区(11校区)から対象校区への転居者
- ➡ 対象経費：住居（取得関連、賃料等）にかかる費用、引越しにかかる費用
- ➡ 助成額：(1) 上限45万円
(2) 上限10万円
※いずれも世帯全員がマイナンバーカードを所持している場合、5万円の加算あり

▶ デジタル版地域の魅力発信事業

新規

将来に向けた道路アクセス環境の利便性向上や交流施設等の整備が図られ、移住先としての潜在力が高い地域の魅力を紹介するデジタル冊子を制作し、本市移住定住ポータルサイト「いいね姫路」や民間サイトを活用して情報発信します。



その他の移住・定住支援に関する取り組み ※再掲事業含む

市外からの移住者に対する次世代自動車導入助成

農地取得者等への栽培技術習得支援

市内企業等の大都市圏における就活イベントへの出展支援

不動産業界等に対する空き家バンク登録の依頼

特別指定区域内の空き家（戸建て住宅）の所有者等に対する除却費助成

移住支援サイト「いいね姫路」の拡充

民間サイト（SMOUT等）の活用

地域における子育て世帯向けイベントの開催 等

ひめじ創生の推進

人口減少社会において、本市の特性を活かしながら、地域全体の活性化を図ります。

— 令和5年度予算額：41,177千円 —

◆ ふるさと納税の推進〔累積ポイント型返礼品の開発〕 新規

姫路城への愛着や保存・継承への機運を高めるため、本市へのふるさと納税の返礼品として、寄附金額に応じたポイント（単位：「石」）の累積により返礼品を贈る「累積ポイント型返礼品」を新たに開発します。累積ポイントによりランクアップすると、姫路城にちなんだ称号と記念品を進呈します。

また、市民アプリ「ひめパス」を活用し、市民も同様に参加できる新たなポイント制度の仕組みを構築します。

◆ 播磨圏域連携中枢都市圏ビジョンの推進 拡充

播磨圏域連携中枢都市圏が、人口減少社会においても、活力ある社会経済を維持するための拠点となることを目指し、圏域全体の経済の活性化及び魅力の向上を図るとともに、住民が安心して快適に過ごすことができる圏域づくりを推進します。

◆ 私立大学教育振興の支援 新規

私立大学における学術の研究や特色ある教育を促進するため、市内の私立大学の教育研究にかかる経費の一部を学校法人に助成します。

- ➡ 助成対象：教育研究経費、教育用機器・備品、図書の購入費等
- 助成額：対象経費の1/2
- 助成限度額：法人割と学生割の合計額
法人割…100万円/法人
学生割…8,000円/人



累積ポイント（石）ランクアップイメージ

播磨圏域連携中枢都市圏の主な取り組み

公立夜間中学による就学の機会の提供

播磨圏域のデジタル化推進事業の実施

脱炭素社会の実現に向けた事業の広域化

連携事業にかかる情報発信

循環型社会の形成

環境に配慮した持続可能な社会の実現を目指し、ごみの減量、資源化を促進します。

— 令和5年度予算額：19,348千円 —

◆ 食品ロス・ごみの削減に向けた啓発

拡充

子どもや保護者に対して、ごみの減量及び資源化に向けた意識の醸成を図るため、市内のこども園、幼稚園等にごみ収集車を派遣し、ごみの分別、積込等の体験型環境学習を開催するほか、フードドライブを実施し食品ロスの削減を推進します。

また、環境学習に取り組む市内の高校生と共同で作成した啓発動画を街頭ビジョン等で放映します。



園児による積込体験の様子

◆ 新美化センターの整備推進

市域内の一般廃棄物を適正に処理するため、市川美化センターの後継施設として、新たなごみ処理施設を整備します。

カーボンニュートラルにつながる最先端の機能を備えるとともに、地域の魅力や価値の向上に資する施設の整備を目指します。

➡ スケジュール：令和5年度…建設候補地決定

循環型社会形成推進地域計画策定

令和6～7年度…新美化センター整備基本計画策定

令和14年度…稼働開始（予定）



市川美化センター



エコパークあぼしと
リフレ・チョーサ(健康増進施設)

■ 用語解説

用 語	解 説
-----	-----

【五十音順】

インクルーシブ遊具	障害の有無にかかわらず、すべての子どもが一緒に遊べる遊具。
オープンデータ	国、地方公共団体及び事業者が保有する官民データのうち、国民誰もがインターネット等を通じて容易に利用（加工、編集、再配布等）できるように、機械判読に適したデータ形式により、二次利用が可能なルールの下で公開されたデータ。
カーボンニュートラル	CO ₂ （二酸化炭素）をはじめとする温室効果ガスの排出量から、植林、森林管理等による吸収量を差し引き、温室効果ガスの排出量を実質的にゼロにすること。
グローバル人材	グローバルとは、「グローバル」と「ローカル」を意味する造語。 国際的な視野を持ち、地域で活躍できる人材。（姫路市SDGs未来都市計画における「国際人材」と同義）
コミュニティ	日々の暮らしの中で、自主性と責任を自覚した、相互に信頼関係がある人々（集団）。
コンベンション	大会や会議、学会、展示会など、共通の目的・テーマを掲げて一定の場所に集まるさまざまな催しで、特に大規模なものを指す。
シェアサイクル	自転車を共同利用する交通システムで、決められたステーション（駐輪場）であれば、自転車を借りたり、返したりできるサービス。
自治体ポイント	マイナンバーカードを活用した自治体独自のポイント給付を行う事業のこと。

スマートシティ	交通インフラや医療など、都市や地域の抱える諸課題について、ICT等の新技術を活用することで、暮らす場所や年齢、性別にかかわらず自身のライフスタイルやニーズに合った生活を送ることができる都市。
スマート農林水産業	ICTやロボット技術を活用して、省力化・精密化や高品質生産を実現する新たな農林水産業。
スマートロック	スマートフォン等を用いて施錠・解錠を行うことができる、鍵及びシステムの総称。
脱炭素先行地域	地方自治体や地元企業等が中心となって実施する、地域特性に応じた先行的な取り組みにより、2030年度までに脱炭素化の実現を目指す地域。国が2025年までに少なくとも100か所の地域を選定するとしている。
ビッグデータ	デジタル化のさらなる進展やネットワークの高度化、またスマートフォンやセンサー等IoT関連機器の小型化・低コスト化によるIoTの進展により、スマートフォン等を通じた位置情報や行動履歴、インターネットやテレビでの視聴・消費行動等に関する情報、また小型化したセンサー等から得られる膨大なデータ。
ひめじプラス	平成30年6月1日から配信を開始した市民向けに作られたアプリで、市政情報やイベント情報、ごみカレンダー等の情報を発信している。市のホームページの新着情報と連動しているため、アプリのお知らせ一覧でいつも最新の情報を確認できる。
フードドライブ フードバンク	一般家庭や企業等から食品を寄贈してもらい、必要としている施設や団体、困窮世帯に無償で提供する活動。 フードドライブ…一般家庭等から余っている食品を収集 フードバンク…安全に食べられるのに、包装の破損や過剰在庫等により流通に出すことができない食品を企業等から収集
プレコンセプションケア	女性やカップルを対象に、計画的な妊娠、性感染症の予防など、将来の妊娠を考えながら自分の身体への健康管理意識の醸成を促す取り組み。
歩行者利便増進道路	歩行者利便増進道路(通称:ほこみち)とは、道路管理者が指定する、「賑わいのある道路空間を構築するための道路」のこと。ほこみちでは、歩道の中に特例区域を設けることにより、通行以外の目的で柔軟に利用できるようになる。
ヤングケアラー	本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話等を日常的に行っている、18歳未満の子ども。

【英字順】

AMR	Antimicrobial Resistance(薬剤耐性)の略。感染症に対して抗微生物薬が効かなくなる問題であり、対策が取られなければ、将来多くの人命が失われると予測されている。
CNP	カーボンニュートラルポートの略。「水素・燃料アンモニア等の大量・安定・安価な輸入・貯蔵等を可能とする受入環境の整備」、「脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化」、「集積する臨海部産業との連携」等に取り組むことで、2050年までにCO ₂ 排出量実質ゼロを目指す港湾。
DMO	Destination Management／Marketing Organization(観光地域づくり法人)の略。多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人で、国の審査を経て登録されたもの。
ESG	Environment(環境)、Social(社会)、Governance(ガバナンス)を考慮した投資活動や経営・事業活動を指す概念。
EV	Electric Vehicle(電気自動車)の略。車載バッテリーに充電を行い、モーターを回して走る自動車。
FCV	Fuel Cell Vehicle(燃料電池自動車)の略。燃料電池で水素と酸素の化学反応によって発電した電気エネルギーを使い、モーターを回して走る自動車。
MICE(マيس)	企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)の頭文字を使った造語で、これらのビジネスイベントの総称。
SDGs	2015年9月の国際連合のサミットにおいて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された持続可能な開発目標をいう。17のゴールと169のターゲットが示されている。
UJIターン	移住促進事業における移住者の3つの動きである、Uターン、Jターン、Iターンの総称。 Uターン…進学や就職等で大都市圏へ移住した地方出身者が、再び出身地に移り住むこと Jターン…地方出身者が出身地には戻らず、出身地に近い都市へ移り住むこと Iターン…出身地とは別の地方へ移り住むこと。主に大都市圏から地方に移住すること

VR	「Virtual Reality」(仮想現実)の略。コンピューター上にCG等で人工的な環境を作り出し、あたかもそこにいるかのような感覚を体験できる技術。
ZEB(ゼブ)	Net Zero Energy Building(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略。快適な室内環境を保ちながら使用するエネルギーを抑え、太陽光発電等でエネルギーを創ることで、1年間で消費するエネルギーの量を実質的にゼロにすることを目指した、ビルや工場、学校等の建物。
ZEH(ゼッチ)	Net Zero Energy House(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の略。1年間で消費するエネルギーの量を実質的にゼロにすることを目指した住宅。



HIMEJI CITY

姫路市